

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 書籍

- (1) 金谷泰宏、市川学.被災地における保健医療情報の共有化技術の実装と課題.病院からの全患者避難 災害医療フォーラム全講演, 医薬ジャーナル社, 180-190, 2017
- (2) 金谷泰宏、市川学. 超スマート社会(Society 5.0)における医療サービス, 医療白書 2017-2018 年版, 日本医療企画, 34-39, 2017

2. 雑誌

- (1) Chang S, Ichikawa M, Deguchi H and Kanatani Y. A General Framework of Resource Allocation Optimization and Dynamic Scheduling. SICE Journal of Control, Measurement and System Integration.2017; 10(2): p77-84.
- (2) 松本珠実、金谷泰宏.「大規模災害時における保健師の活動マニュアル」の策定と災害時健康危機管理支援チーム構想等との連続性や連携に向けた課題. Japanese Journal of Disaster Medicine. 2016; 21(1): p78-82.
- (3) 金谷泰宏、鶴和美穂. 大規模災害時の公衆衛生活動と被災地支援の到達点. 公衆衛生 2016; 80(9): p636-642.
- (4) 笠山(坪山) 宣代、金谷泰宏. 「災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)」と管理栄養士への期待. 臨床栄養 2016; 129(2): p158-159.

3. 学会発表

- (1)Kanatani Y. The Right Start: Introduction to public health and the medical response to disasters in Japan (Theory and practical methodology).48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference; 2016 September; Tokyo, p.50
- (2)Chang S, Ichikwa M, Deugchi H and Kanatani Y. “An agent-based simulation of post-disaster relief and medical assistance activities”. The 7th International Symposium on Computational Intelligence and Industrial Applications (ISCIIA2016). 2016, Nov. China.
- (3)金谷泰宏. 国立保健医療科学院における災害時健康危機管理支援チーム教育の現状と課題. シンポジウム 19 大規模災害時の健康危機管理を担う公衆衛生従事者の教育訓練のあり方.第 75 回日本公衆衛生学会総会. 2016 年 10 月 ;大阪. 日本公衆衛生雑誌. 2016 ; 63 (10 特別付録):p128.
- (4)岩崎大貴、金谷泰宏、市川 学、出口 弘. 社会シミュレーションを用いた広域災害時の医療需要予測と精度向上に向けた検討. 第 75 回日本公衆衛生学会総会. 2016 年 10 月 ;大阪.日本公衆衛生雑誌. 2016 ; 63 (10 特別付録):p574.
- (5)宮崎美砂子、奥田博子、春山早苗、上林美保子、安齋由貴子、高瀬佳苗、丸谷美紀、金谷泰宏、井口沙織. 大規模災害時の地域保健活動拠点における支援人材活用等のマネジメント評価指数の検討. 第 75 回日本公衆衛生学会総会. 2016 年 10 月 ;大阪. 日本公衆衛生雑誌. 2016 ; 63 (10 特別付録):p579.

- (6)前浜慶祐子、長谷川麻衣子、金谷泰宏、市川 学、黒田美奈子、藤本澄江. 災害時公衆衛生対応における机上訓練を通じた地域内連携体制構築の取り組み. 第 75 回日本公衆衛生学会総会. 2016 年 10 月 ;大阪. 日本公衆衛生雑誌. 2016 ; 63 (10 特別付録):p582.
- (7)原岡智子、金谷泰宏、早坂信哉、尾島俊之. 災害時公衆衛生活動における情報に関する訓練の効果. 第 75 回日本公衆衛生学会総会. 2016 年 10 月 ;大阪. 日本公衆衛生雑誌. 2016 ; 63 (10 特別付録):p583.
- (8)金谷泰宏、市川学.被災地における保健医療情報の共有化技術の実装と課題.病院からの全患者避難 災害医療フォーラム全講演, 医薬ジャーナル社, 180-190, 2017
- (9)金谷泰宏、市川学. 超スマート社会(Society 5.0)における医療サービス, 医療白書 2017-2018 年版, 日本医療企画, 34-39, 2017
- (10)Iwata K, Fukuchi T, Hirai M, Yoshimura K, Kanatani Y. Prevalence of inappropriate antibiotic prescriptions after the great east Japan earthquake, 2011. *Medicine*, 2017,96
- (11)Ochi S, Kato S, Kobayashi KI, Kanatani Y. The Great East Japan Earthquake: Analyses of Disaster Impacts on Health Care Clinics. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*, 2017,29:1-
- (12)宮崎美砂子 : 災害支援の仕組みづくりと看護職のリーダーシップ . パネルディスカッション 1 災害時の専門職連携におけるリーダーシップの開発と課題 , 第 21 回日本看護管理学会学術集会抄録集 , 146、2017 .
- (13)宮崎美砂子 , 奥田博子 , 春山早苗 , 金谷泰宏 , 井口紗織 : 災害時における統括保健師のコンピテンシー及び役割・権限に関する意見調査 .第 76 回日公衛会抄録集 ,64(10) ,306 , 2017.
- (14)Misako Miyazaki, Hiroko Okuda, Sanae Haruyama, Yasuhiro Kanatani, Nozomu Yoshitomi, Saori Iguchi:Developing a disaster response competency model for public health nurse leaders Based on experiences of natural disasters in Japan. *Book of Abstracts, The 3rd Asian Congress in Nursing Education (ACiNE)* ,p279, Yogyakarta, Indonesia,2017.
- (15)Kanatani Y. Perspectives in satellite and simulation technologies for disaster response. *World Bosai Forum IDRC 2017 in Sendai, Miyagi*, 2017
- (16)Kanatani Y. Medical responses to CBRNe accidents. *Non-Conventional Threat(NCT) Asia 2017 and the 8th SISPAT (Singapore International Symposium for Protection Against Toxic Substances) conference and exhibition*, Singapore, 2017
- (17)金谷泰宏. 大規模災害に向けた保健医療情報の共有と利活用, 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017
- (18)金谷泰宏. 災害時健康危機管理支援チーム研修の現状と課題 第 22 回日本集団災害医学会総会, 名古屋, 2017